



キャリア教育だより



岐阜希望が丘特別支援学校

令和7年11月21日発行

総合支援部 No.4

今回の『キャリア教育だより』では、各部の取組と高等部「インターンシップ」「就業体験」についてご紹介します。

当校の「インターンシップ」「就業体験」の大まかな流れ、就業体験に参加された保護者の声、在校生の保護者の方へのメッセージ等をお届けします。

就業体験は、卒業後の生活を見据えた取組です。お子さまが、将来自分らしく豊かな生活を送ることができるようにするために、**小学部・中学部段階からどんな準備をするとよいのか**、この機会に考えていただけると幸いです。

★小学部・中学部の取組の紹介★

【小学部】

小学部1・2年1組では「できることは自分で、難しいことは先生と一緒に」を合言葉に、まずは身の回りのことを自分自身でやることに取り組んでいます。ちょっと不安だったり、緊張したり、時間を要したりしますが、何度も繰り返すことでスムーズにできるようになり、自信にもつながっています。また、自分でやってみることで、自分にできることと、一人では難しいことの判断が少しずつできるようになってきました。そんな時は何に困っているのか、何をしてほしいのか、を自分の言葉で伝えることも大事にしています。

「今」の積み重ねが「将来」につながっています。当たり前に見えることでも丁寧にコツコツ向き合い、どんな場面も力を蓄えていける場としていきたいです。

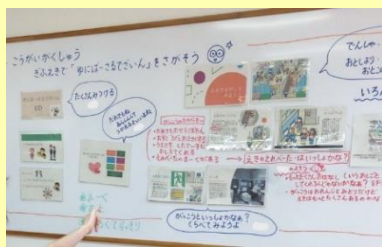


➡「キャリアプランニング能力」
「人間関係形成・社会形成能力」

【登校後のかばん片付けの様子】

【中学部】

2組では、生活単元学習で「ユニバーサルデザイン」について学びました。校内や学校周辺にあるユニバーサルデザインを探し、校外学習で行く岐阜駅にはどのようなユニバーサルデザインがあるのかを予想しました。校外学習当日は、実際に駅にあるユニバーサルデザインを見たり使ったりして、見やすい・使いやすいと感じたり、これもユニバーサルデザインかな？と考えたりすることができました。生活単元学習では、知る・考える・伝える・感じるなどの経験を通して、自分の思いを伝えたり、困っていることや必要な支援を伝えたりすることで、より良く生きるための学びの機会としていきたいと考えています。

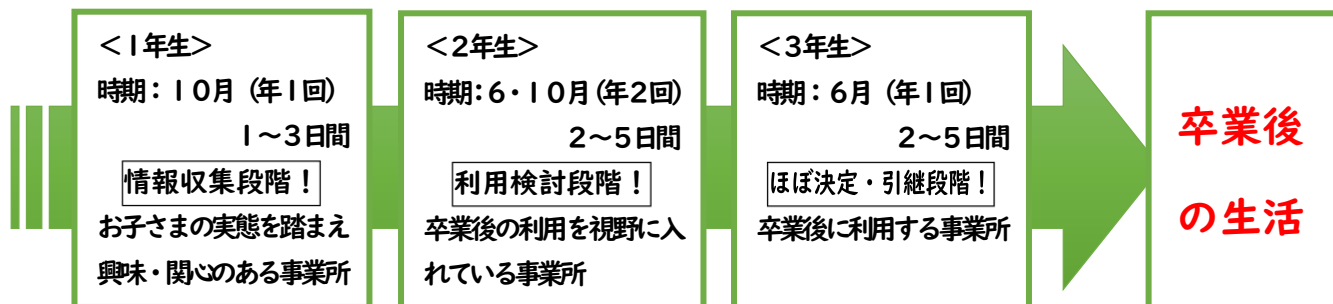


➡「人間関係形成・社会形成能力」
「自己理解・自己管理能力」

【校外学習：岐阜駅】

★高等部 「インターンシップ」「就業体験」の紹介★

<高等部3年間の取組>



「インターンシップ」「就業体験」を行うにあたり・・・

○事前の情報収集が大切です！

事業所によって、活動内容や雰囲気、サービス内容が異なります。計画相談の担当者との連携を密にしたり、先輩保護者からアドバイスをもらったり、実際に事業所見学をしたりして、積極的に情報収集をしてください。

○保護者の方に送迎や付き添いをお願いする場合があります。

保護者：松原さんにインタビューしました！

Q 1 就業体験先、実習期間（日数）を教えてください。

生活介護事業所『マンマ・ミーア』2日間

Q 2 就業体験先を決めるにあたり、保護者様が大事にされたこと、

苦勞されたことを教えてください。

施設の雰囲気、活動の内容、他の利用者さんの雰囲気や年齢などが合っているかを重要視しました。

Q 3 初めての就業体験を終えた感想を教えてください。

利用中の施設だったので、緊張することなく楽しむことができて良かったです。

Q 4 在校生の保護者の方が、今から取り組んでおくといと思われることがありましたら、教えてください。

早めに取り組んでよかったのは、新しい場所や人の中でも楽しく過ごせるように、利用する放課後等デイサービスを増やしたことです。

また、卒業後行く予定の施設を在学中から利用することで、親子ともに施設の方や利用者さんとのかかわりを深めることができ、卒業後の不安が軽減されました。



保護者：石田さんにインタビューしました！



Q 1 就業体験先、実習期間（日数）を教えてください。

生活介護事業所『さん・さん ガーデン』5日間

Q 2 就業体験先を決めるにあたり、保護者様が大事にされたこと、苦労されたことを教えてください。

①人とのコミュニケーション、②体を動かしたり作業したりできるなどの活動の充実の2点を目安に就業体験先を検討しました。

活動多めの事業所を希望していましたが、生活介護事業所の中から探すのは大変でした。学校の先生、計画相談員さんに相談し、たくさんの情報やアドバイスをもらい、見学先の事業所へは子どもと一緒に行きました。

就業体験場所を決めるにあたり、場所、時間帯も大事だと思いましたが、やはり子どもの見学中の表情や見学後の様子を見て仮決定したあと、最終的には、担任の先生に再度相談して決めました。

Q 3 初めての就業体験を終えた感想を教えてください。

就業体験場所は普段放課後等デイサービスで利用している事業所でした。月～金曜日までの5日間体験させていただきました。初日の月曜日だけ、友達のいない寂しさから「イヤー！」と言っていました。掃除活動、芋ほり体験、散歩、パン・シフォンケーキ作りと毎日活動内容が違って、充実した就業体験でした。

事業所の職員さんから、「普段の姿ではなく、お仕事をする姿が見られました。気持ちの切り替えもできていました」との言葉をもらえました。

Q 4 在校生の保護者の方が、今から取り組んでおくとういと思われることがありましたら、教えてください。

「まだ早い」と思う気持ちはありましたが、早めに子どもに合いそうな事業所の見通しがもてるとよいと思います。そうすることで、高等部になっても慌てずに就業体験先を決めていけると思います。

気になる事業所は、実際に足を運んで見学することが大切です。

当校初の「キキ・ボウ体験&交流会」が開催されます（足を運ばなくても事業所や企業が来てくれます）。まだ早いと思わず、のぞいてみてください。きっと参考になる情報が得られると思いますよ。

早い時期から、実際に施設を見学したり利用したりすることが大切なんだね!!



就業体験をさせていただいた事業所については、1階総合支援部の掲示板にて紹介しています。